

風力発電計画に係る環境影響評価の方法書縦覧

せたな町瀬棚区大里地区周辺において、風況調査等がされている風力発電事業計画に関し、環境影響評価の方法を記載した「環境影響評価方法書」を次のとおり縦覧します。

○縦覧場所

本庁 産業振興課／各総合支所 産業建設課

○縦覧期間

平成24年3月30日（金）～ 平成24年4月30日（月）（土・日・祝日を除く）

○意見書受付場所

各縦覧場所（投函箱へ投函してください）

○意見書受付期間

平成24年3月30日（金）～ 平成24年5月14日（月）

【お問い合わせ先】 瀬棚総合支所 産業建設課 ☎0137-87-3311

「野焼き」「不法投棄」は犯罪です！

家庭や事業所から出たゴミを屋外で焼却することは法律で禁じられています。

屋外焼却（野焼き）は、煙・悪臭などにより隣近所への迷惑となり、ダイオキシンなどの有害物質を発生させるため絶対にやめましょう。

また、河川や道路、山林や田畑などへゴミ（廃棄物）や家電製品を捨てたり放置することも法律で禁じられています。

※私有地でもごみの放置は法律で禁じられています。

※法律に違反した場合は、「5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金」に処されます。



犬・猫の飼い主は「ルール」「マナー」を守り責任を持って飼いましょう！

犬のフンは
掃ってかえりましょう。



犬・猫を飼う方は、ルールとマナーを必ず守り、他人へ迷惑をかけないようにしましょう。

- 犬を散歩させるときは、フンを処理する袋を持参し、必ず持ち帰りましょう。
- 犬の放し飼いは絶対に止めましょう。
- 野良猫を増やさないためにも、猫は室内で飼いましょう。
- 野良猫への餌付けは絶対に止めましょう。

【お問い合わせ先】 本庁：町民児童課環境衛生係 ☎84-5111

大成総合支所：地域町民課環境衛生係 ☎4-5511／瀬棚総合支所：地域町民課環境衛生係 ☎87-3311

東日本大震災から一年。多くの義援金をお寄せいただきました。ありがとうございました。

昨年3月11日に日本を襲った大震災直後より、暖かいご支援をお寄せいただき厚く御礼申し上げます。被災都道府県の義援金配分委員会を通じて被災者の方々へお届けしています。なお、息の長い支援を行うため、義援金の受付期間を平成24年9月30日(日)まで延長することとしましたので、引き続き皆さまのご協力をよろしくお願いたします。

日本赤十字社

■日本赤十字社 北海道支部受付額	58億
■日本赤十字社 受付額	3,102億
■被災都道府県への送金額	3,466億
■被災者への配分額	2,879億

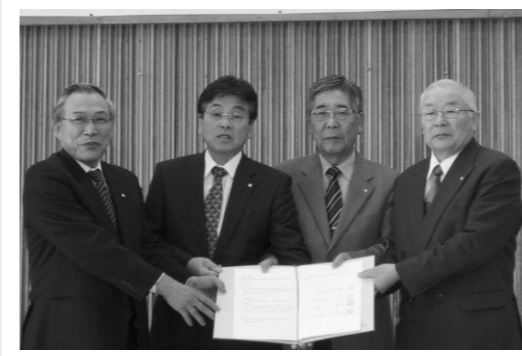
※上記金額は全て2月末現在

町民皆さまには、震災直後、募金活動を行っていただきありがとうございました。この他にも被災地の方々は様々な形で応援していただいております。そのあたためたいお気持ちにあらためて深く感謝し、お礼申し上げます。

せたな町長 高橋貞光

北渡島・檜山北部4町災害時相互応援

せたな町・今金町・八雲町・長万部町で災害時の「助け合い」を約束する協定を結びました



協定書を手にする4町の町長。左から高橋貞光せたな町長、外崎秀人今金町長、川代義夫八雲町長、白井捷一長万部町長

2月27日、せたな町と今金町、八雲町、長万部町の4町が、災害時の相互応援に関する協定を結びました。

この4町は、近隣町でありながら中央に山岳地帯があり、せたな町は日本海、今金町は内陸地帯、八雲町は太平洋と日本海、長万部町は太平洋と異なる地理的条件にあります。大規模災害があった時は、そろって大きな被害を受ける可能性が低いことから、いち早く被害を受けた町を応援するために協定を結びました。

この協定では、食料、飲料水、生活必需品、救助活動に必要な車両など提供、職員の派遣、一時避難所の提供のなど、被害を受けた町が、必要とする支援を速く受け取ることができるように定められています。

せたな町医療等対策審議会

医療等対策審議会委員、大成診療所施設を視察

2月24日、せたな町医療等対策審議会が開催され、町長から、せたな町立国保病院大成診療所の改築整備について諮問されました。

大成診療所の改築整備については、平成18年12月、せたな町医療等対策審議会により答申された「せたな町の医療体制のあり方について」の中で、『現施設の老朽化が著しく、部分的な修繕等で対応しきれない状態であることから、診療所化に伴って適正な規模の改築整備を行うべきである。』とされています。

今後、大成診療所については、将来に向けて持続可能な診療体制を考慮した中で、施設の改築整備についての具体的な議論を進めていくこととなります。



「優良」評価
B&G瀬棚海洋クラブ

2月7日、東京都港区の笹川記念会館で第4回B&G全国サミットが開催され、せたな町海洋センターが、海洋性レクリエーションや水の安全教育など活発な活動が評価され、5段階評価の「特A」評価となり表彰されました。

（広報せたな12月号、生涯学習だよりのコーナーでも紹介しています。）